

目 次

1 . 15 年度研究成果の概要	1
1 . 1 研究プロジェクトの目的	1
1 . 2 研究プロジェクトの全体計画	1
1 . 3 15 年度研究成果	2
1.3.1 15 年度研究の計画	2
1.3.2 実施内容および成果	2
1.3.3 外部発表および新聞等での紹介	6
1.3.4 課題	7
2 . Executive Summary	9
3 . リスクコミュニケーションの社会実験の実施	13
3 . 1 コミュニケーション形態の選択理由	13
3 . 2 自発的参加者によるコミュニケーションの場	14
3.2.1 「東海村の環境と原子力安全について提言する会」の設立	14
3.2.2 「提言する会」の運営方針	15
3.2.2 「提言する会」の活動	16
3.2.3 視察プログラムの特徴とその成果	18
3.2.3 インタープリター育成プログラムの検討	22
3 . 3 不特定多数への情報提供努力	24
3.3.1 ニュースレター「しーきゅうぶ」の発行	24
3.3.2 ホームページの活用	25
3 . 4 多様なリスク問題を扱う対話の場 ～公開ワークショップの開催～	26
3 . 5 リスクリテラシー向上のためのプログラム	30
4 . リスクコミュニケーション活動の社会的効果の評価	33
4 . 1 リスクコミュニケーション社会実験の評価	33
4.1.1 「提言する会」のコミュニケーション評価	33
4.1.2 視察プログラムのコミュニケーション評価	36
4.1.3 公開ワークショップの評価	41
4.1.4 3つのリスクコミュニケーション実験からの教訓	43
4 . 2 プロジェクト以外のコミュニケーション活動 ～核燃料サイクル開発機構の場合～	44
4.2.1 リスクコミュニケーション活動実施の経緯	44
4.2.2 リスク研究班の活動	44
4.2.3 さいくるフレンドリートークとは	45
4.3.4 参加者からの評価	47

4.2.5	フレンドリートークからの教訓.....	48
4.2.6	事業者のリスクコミュニケーション活動の課題 ～組織的対応の重要性について～	50
4.2.7	さいくるフレンドリートークの今後の課題.....	51
4.3	プロジェクト全体の社会的効果	53
4.4	今後の課題 ～社会的効果の評価軸の検討～	54
5	実践的ガイドラインの策定	57
5.1	実践上の課題 ～ファシリテーションの難しさ～	57
5.1.1	「提言する会」のファシリテーション.....	57
5.1.2	公開ワークショップにおけるファシリテーション	59
5.1.3	ファシリテーション経験からの教訓	60
5.2	ファシリテーションのためのマニュアル	61
5.2.1	ファシリテーションとは	61
5.2.2	ファシリテーションの基本的なスキル（質問・発言・要約の技法）	65
5.2.3	ファシリテーターのためのツールキット	71
5.3	リスクコミュニケーション・ガイドラインの公開.....	79
6	リスクコミュニケーション素材の作成.....	81
6.1	原子力技術の利用に伴うリスク	81
6.1.1	電力の生産・利用に伴うHSE（健康・安全・環境）リスク.....	81
6.1.2	原子力発電所の安全確保についてリスクコミュニケーションを行う場合	83
6.2	リスク比較の際の留意点	87
6.3	リスクメッセージに求められる情報	89
6.4	リスク情報の表現にあたっての留意点.....	90
7	課題と今後の活動	93
7.1	社会学の視点から	93
7.2	社会心理学の視点から	94
7.3	今後の活動.....	95
	参考引用文献.....	97
参考資料1：ニュースレター創刊号～第9号		
参考資料2：ワークショップ関連資料		
参考資料2-1：ワークショップ進行案		
参考資料2-2：ワークショップ進行案（当日用）および進行役の心得		
参考資料2-3：ワークショップ参加者アンケート結果（単純集計表，クロス集計表，自由記述）		
参考資料3：「提言する会」参加者アンケート結果		
参考資料4：プロジェクトおよび「提言する会」の活動状況		